

○近年、頻発する局地的な豪雨による土砂崩落等、災害発生時の迅速かつ安全な復旧対応に備えるため、静岡市と連携し、中部技術事務所が保有する簡易遠隔操縦装置「ロボQS」を活用したバックホウの遠隔操作訓練を実施しました。
○本訓練は、遠隔操作技術の習得・向上を目的として、静岡市の災害時協力業者を対象に初めて実施しました。

- 内 容：簡易遠隔操縦装置（ロボQS）の取付・遠隔操作訓練
- 日 時：令和8年7月3日(金) 10:00～16:00
- 場 所：災害時協力業者構内（静岡市葵区坂ノ上地先）
- 参加者：静岡市災害時協力業者 15社 27名
重機メーカ 2社 9名

※簡易遠隔操縦装置（ロボQS）とは

災害復旧現場での二次災害防止のため、市販のバックホウに簡易遠隔操縦装置（ロボQS）を取付け、安全な場所からの遠隔操縦を可能とする装置です。

なお、ロボQSは、国土交通省九州地方整備局九州技術事務所、（株）フジタ、（株）IHIが共同開発した装置です。



中部技術事務所長

静岡市

【↑開催挨拶】



【ロボQS取付（キャビン内）状況見学↑】

訓練参加者の感想

- ・ロボQSの取付は、細かな調整が必要で大変だ。我々（建設業者）での取付けは難しい。
- ・遠隔操作は最初は慣れが必要だが、慣れれば大丈夫。
- ・搭乗操作に比べ若干操作タイムラグがあり違和感を感じる。
- ・オペレータの二次災害防止という点では有効だ。
- ・音が聞こえないくらいの離れたところで操作することを考えて、集音マイクなどがあるとよい。



【←↓中部技術事務所職員指導による遠隔操作訓練】



取付機種：コマツ PC228US-11

【ロボQS取付後（キャビン内）↑】



中部技術事務所
マスコットキャラクター
「エコチュウ」